



## 7月 乳汁検査簡易まとめ



7月にご依頼の受けた乳汁検査の薬剤感受性試験の結果をまとめましたので、ご紹介いたします。

		P	AM	Cz	T	K	ERFX	PLM	ST
ウベリス	○	14	12	18	4			3	
	△		1		2			1	
	×	4	5		12	18		14	
大腸菌	○		14	15	21	36	35		33
	△		5	12	10				
	×		18	9	6	1	2		4
アルカノ	○	5	4	5	4	4		7	
	△					2			
	×	2	3	12	3	1			
SA	○	10	13	15	14	10		14	
	△	1		1		4			
	×	3	3		2	2		2	
CNS	○	16	15	18	18	19		15	
	△		1	3	1				
	×	7	5		2	2		6	
OS	○	15	17	16	8			15	
	△		1	1	6			1	
	×	3		1	4	18		2	
エンテロ	○	2	2					2	
	△		1	1	3				
	×	3	2	4	2	5		3	
クレブシエラ	○			1	2	3	3		3
	△			1	1				
	×		3	1					

	注射	軟膏		注射	軟膏
P	ペニシリン	ニューサルマイ、ハイポリ	K	カナマイシン	カナマスチン
AM	アンピシリン	—	ERFX	バイトリル	—
Cz	セファゾリン	セファメジン	PLM	—	ピルスー
T	OTC	OTC	ST	トリオプリン	

菌種によって全く抗生剤の効き方が異なることは一目瞭然だと思えます。最近の傾向としては以前の暑さが原因か、**大腸菌**と、**ウベリス**（難治性のレンサ球菌）が頻出しています。

軟膏をさして治療される前に、一度数頭でも、菌種、抗生剤感受性の検査をして、自分の農場でどのような菌がいるのか、どの抗生剤に感受性があるのか検査してみたいはかがでしょうか。

齋藤 歩